

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イトーヨーカドー福山店

(2) 事業所の所在地

広島県福山市入船町3-1-60

(3) 業種

5611 百貨店,総合スーパー

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、平成29年度から平成33年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境についての約束

・環境負荷の適切な把握

セブン&アイHLDGS環境部会と連携しながら、CO2排出量をはじめとして、環境負荷を適切に把握しCO2や水の利用削減、3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進などの環境負荷の低減に取り組んでいます。

・低炭素社会に向けたエネルギーの効率的な利用

地球温暖化に伴い、豪雨や台風の強大化など異常気象の深刻化が懸念されています。店舗での環境配慮設備の導入や物量における配送効率の向上などエネルギーの効率的な利用に注力しています。

・循環型社会の構築に向けた資源の有効活用

廃棄物の抑制や包装資材の使用削減に努めるとともに、限られた資源を有効に活用する「循環型社会」の形成を目指して、新しいリサイクルの仕組みづくりを進めています。

・環境意識の啓発

環境に考慮した商品の提供などを通じて、お客様にエコライフを提案していくとともに、従業員一人ひとりが自覚と責任をもって環境負荷の低減に取り組むよう意識啓発を行っています。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25年度	平成28年度
二酸化炭素	5,290	4,641

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25年度	平成28年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成25年度	平成28年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)	削減目標		目標年度 (平成33年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

延床面積 × 営業時間 [千m²・h]

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成33年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	5,290	247,900	0.02	0.0	4,443	247,200	0.02
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	5,290	247,900	0.02	0.0	4,443	247,200	0.02
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	2,070	247,900	0.008350	16.0	1,734	247200	0.007015
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年2%の削減し 平成33年時点で平成25年に対し原油換算klの16%削減を目標とする。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	原単位の削減	エネルギー消費原単位を 対基準年度2%削減	冷暖房温度の適正管理 省エネ型機器への更新
2	原単位の削減	エネルギー消費原単位を 対基準年度2%削減	店内照明の適正照度での運用 休憩時間等不要照明の消灯の徹底
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

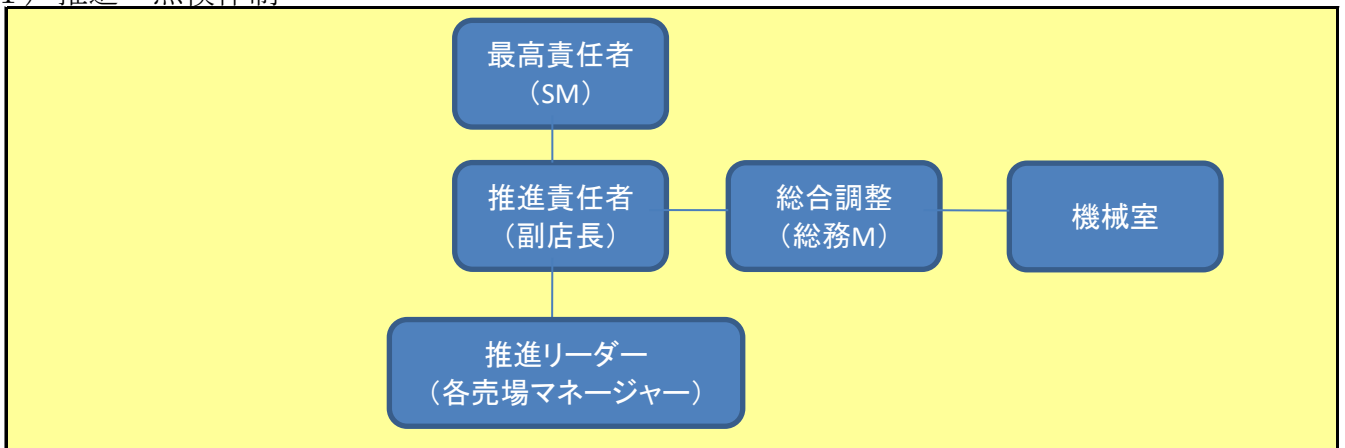
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		両面コピーおよび裏紙の積極利用 分別収集及び資源化の徹底
2	廃棄物排出量の削減		レジ袋の有料化 マイバックの推奨
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

総務Mを中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い店全体の会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容などについては、計画書と共に公表する。

(3) 計画書等の公表

店舗サービスカウンター内での閲覧